

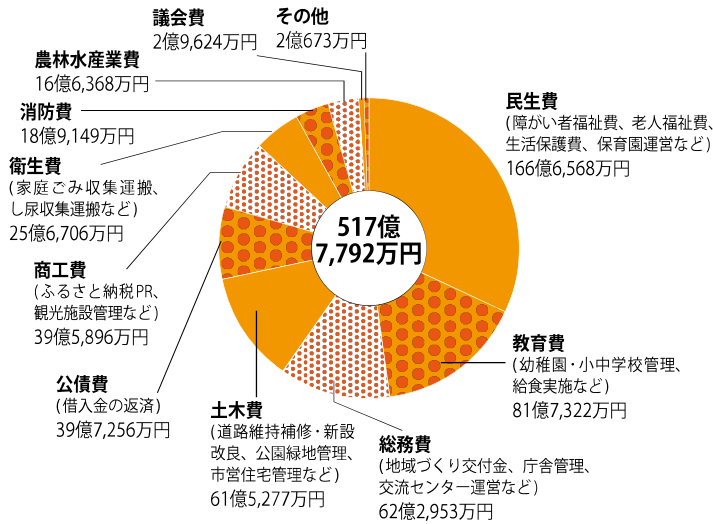
決算報告 令和7年度

歳出

(市が使ったお金)

517億7,792万円
前年度比
36億5,465万円増(7.6%)

学校施設の長寿
命化や道路などの維持保
全事業を実施し、教育費や土木費が増加し
たことにより、全体で前年比7.6%の
増額となりました。



令和7年度の 主要事業

学校開放夜間照明施設LED 化改修事業 【教育費】

支出済額：1億948万円

上野中学校および江釣子小学校の夜間照明設備をLEDに改修し、夜間利用時の適切な施設環境を整備しました。

ツインモールプラザ再生事業 【商工費】

支出済額：10億8,037万円

ツインモールプラザの再生のため、館内状況調査、マスターリース事業者の公募・賃貸借契約、同館の所有権取得などの再生スキームを実施しました。

鳥獣被害対策事業

【農林水産業費】

支出済額：654万円

北上市鳥獣被害対策実施隊を組織し、市内における有害鳥獣捕獲を実施しました。また、クマなどの緊急銃猟に対応するための体制を整備しました。

物価高対応子育て応援手当 給付金 【民生費】

支出済額：2億5,694万円

物価高対応子育て応援手当給付金として、児童1人当たり2万円を1万2,740人に支給しました。

展勝地公園整備事業

【土木費】

支出済額：436万円

展勝地公園内にある「イシツブテ公園 in きたかみ」の利便性向上のため、遊具の足場マット設置やゴムチップ舗装を実施しました。

令和7年度(令和7年4月1日～令和8年3月31日)の市の決算が、9月の市議会通常会議で認定されました。

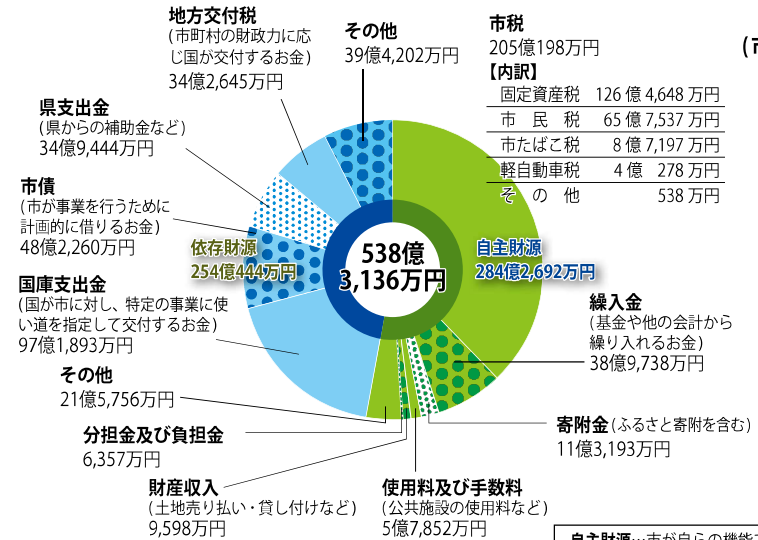
■問い合わせ…財政課 ☎0197-72-8249

歳入

(市に入ってきたお金)

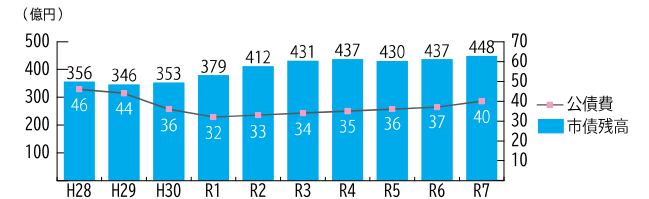
538億3,136万円
前年度比
46億3,644万円増(9.4%)

定額減税の終了に伴い地方特例交付金などが減少したものの、市民税や固定資産税、国庫支出金などが増加したことにより、全体で前年比9.4%の増額となりました。



公債費・市債残高の動き

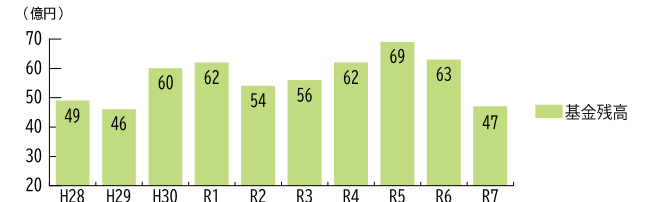
令和7年度は、小中学校の建設・長寿命化改良事業の実施など普通建設事業費の増加に伴い、市債残高は増加しています。



基金残高の動き

(財政調整基金と市債管理基金の合計)

一般財源を抑制し、基金の取り崩しを最小限に抑えてきましたが、令和7年度はツインモールプラザ再生事業や公共下水道事業補助金などの一般財源による支出の増加により減少しました。今後も健全な財政運営のため、適切に基金残高を管理していきます。



■各事業の決算額一覧

名称	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	70億7,305万円	70億6,769万円	536万円
後期高齢者医療	20億4,517万円	20億3,925万円	592万円
介護保険	87億780万円	86億3,335万円	7,445万円
工業団地事業	21億1,720万円	21億1,029万円	691万円
駐車場事業	7,720万円	7,625万円	95万円
宅地造成事業	1,112万円	1,059万円	53万円
電気事業	1億7,597万円	1億5,450万円	2,147万円
合計	202億751万円	200億9,192万円	1億1,559万円

特別会計

七つの特別会計の合計は、歳入が20億751万円、歳出が200億9192万円となりました。
令和7年度も全ての特別会計で黒字決算となりました。

下水道事業会計

◆下水道事業会計とは
下水道事業は、サービスの提供を受けた人がその費用を負担するという考え方を基本とし、使用料により運営されています。このため、独立した会計を設けて、経営・財務状況を毎年度明らかにしています。

◆二つの収支決算
下水道事業では、民間企業と同様に「複式簿記会計」により経理を行っているため、収入と支出が次の二つに区分されます。

①下水道施設を維持管理するための収入と支出（当年度の損益となる）
②下水道施設を建設するための収入と支出（資産や負債となる）
決算も二つに分かれるため、経営成績と財政状況がより明確になります。

■問い合わせ：下水道課 ☎01977121806



下水道マスコットキャラクター
スイスくん

①下水道施設を維持管理するための収入と支出

収入31.8億円 - 支出31.3億円 = 0.5億円（純利益）

【収入】

項目	金額
下水道使用料	16.5億円
一般会計からの補助金	9.7億円
その他	5.6億円
合計	31.8億円

【支出】

項目	金額
減価償却費	16.3億円
汚水処理費用	12.6億円
借入金利息	2.4億円
合計	31.3億円

POINT

一般会計や特別会計と異なり、減価償却費など現金の支払いが伴わない費用も計上しています。

②下水道施設を建設するための収入と支出

収入18.3億円 - 支出30.5億円 = △12.2億円

【収入】

項目	金額
企業債	10.4億円
一般会計からの出資金	4.4億円
国・県からの補助金	2.8億円
工事・受益者負担金	0.7億円
合計	18.3億円

【支出】

項目	金額
企業債の償還	21.7億円
処理場の建設・更新費用	3.6億円
下水道管の建設・更新費用	5.2億円
合計	30.5億円

POINT

②の収支は通常、収入額が支出額に対して不足します。この不足分は、減価償却費など現金の支払いを伴わない費用によって蓄えられた資金で補填しています。

きたかみさん家の家計簿

市の令和7年度の一般会計決算額を、身近に感じていただけるよう年収500万円の家計に置き換えてみました。
きたかみさんは給与などのほか、親からの仕送りや、借金をしながら生活しています。
※実際の家計との比較になじまない部分もあります。

収入（歳入）

家族で稼いだお金

給料（市税）	190万円
パート収入（寄附金、施設使用料など）	27万円
資産運用収入（土地の売り払い・貸し付けなど）	1万円
合計	218万円

稼ぎ以外のお金

親からの仕送り（地方交付税、国・県からの補助金など）	191万円
借金（市債）	45万円
預金の取り崩し（基金、前年度繰越金など）	46万円
合計	282万円

収入合計500万円

※上記のほかに、預金残高が70万円あり。

支出（歳出）

家族の生活費

食費（職員給与などの人件費）	60万円
光熱費などの雑費（備品購入、委託料などの物件費）	94万円
町内会費（補助金など）	60万円
車や家財などの修理代（施設などの維持補修費）	9万円
医療費・介護費（生活保護などの扶助費）	104万円
合計	327万円

生活費以外の支出

借金の返済（公債費）	38万円
家の増改築費（公共事業など）	84万円
子どもたちへの仕送り（他会計への繰出金）	31万円
預金（投資、出資金、翌年度繰越金）	20万円
合計	173万円

支出合計500万円

※上記のほかに、借金残高が432万円あり。

北上市の財政状況

◆健全化判断比率
市町村などの財政の健全度を示す健全化判断比率の数値は、いずれも基準値を下回り健全な状態です。
実質公債費比率は、平成15年度からの行政改革で投資的経費（道路や建物などの公共施設の建設にかかる経費など）を抑制してきたことにより、改善傾向が続いています。そのため、近年は低い数値で安定していますが、令和5年度からは増加に転じています。

将来負担比率は、市債の償還が進み、健全な状態が続いているものの、近年の投資的経費の増加に伴う市債の発行額の増加により、令和3年度からは増加に転じています。

なお、各特別会計や公営企業会計は黒字決算であるため、実質赤字比率・連結実質赤字比率は算定されていません。

◇用語の解説
実質公債費比率
借金の年間返済額の大きさを市の財政規模（収入）に対する割合で表したものです。数字が少ないほど、借金が少なく資金繰りがうまくいっているということです。

将来負担比率
将来返済する分も含めて借金全体の大きさを市の財政規模（収入）に対する割合で表したものです。数字が少ないほど、将来の負担が少ないということです。

■健全化判断比率の動き

